

平成 21 年度総合問題（生活科学科 食物栄養専攻）解答例

1 (80 点)

【採点のポイント】

以下のような点について述べられていること。

- ・ 起床時刻：小学生・中学生の大半は 7 時ごろまでに起床している。高校生では 6 時ごろまでに起きる割合が 40%に増える。
- ・ 就寝時刻：学校段階によって大きく変化している。小学生では大半が 10 時ごろまでに就寝している。中学生では大半が 12 時ごろまでに就寝するものの、高校生では 40%以上が 12 時 30 分以降である。
- ・ 睡眠時間：学校段階があがるにつれて、睡眠時間が減少している。高校生では 50%が 6 時間以内であり、睡眠不足になっている。
- ・ 朝食の欠食：昭和 61 年，平成 8 年，平成 18 年と，ほぼすべての年齢で男女とも朝食の欠食が増加傾向にある。

【解答例】

起床時刻はすべての学校段階で 7 時ごろまでに起床していることがわかる。しかし、小学生の大半は 10 時ごろまでには就寝しているが、中学生の大半が 12 時ごろまでに就寝し、高校生では 4 割以上が 12 時 30 分以降である。学校段階が上がるにつれて、睡眠時間が減少し、高校生では 50%が 6 時間以内であり、睡眠不足になっている。その結果、生活の夜型化や睡眠不足といった不規則な生活が常態化している。朝食の欠食率を見ると年々欠食率が増加し続けており、特に低年齢化が加速していることがわかる。

このような基本的な生活習慣の乱れは、学習意欲や体力、気力の低下など、心身に悪影響を与えることが一般的によく知られるようになったが、なかなか改善されずにいるのが現状である。

社会全体の問題として、今後さらに「早寝早起き朝ごはん」運動に見られるような啓発に積極的に取り組む必要があると考えられる。 (378 字)

2 (80 点)

【採点のポイント】

- ・ 表 1，2 から，各生産物，都道府県の特徴を読み取り，適切に記述していること。
- ・ 鹿児島県の特徴を他県と比較して，適切に記述していること。

【解答例】

鹿児島県の総農業産出額は全国第 2 位である。かんしょなどのいも類が，シラス台地を活かして生産されている。温暖な気候を活かし，肉用牛，豚，鶏など，畜産物の生産が日

本一である。さとうきび、茶の生産も多い。これらの結果、重要な食料供給基地としての役割を果たしている。

一方、北海道は日本一の農業算出額を誇り、日本の食料供給基地としての役割を果たしている。東北地方は、主要農産物である米に農業算出額を依存している。九州、東北、北海道では、畜産（肉用牛、豚、ブロイラー、鶏卵）が占める割合が高い。

北海道の生乳、青森のりんご、山形のさくらんぼ、新潟の米、愛知のきく、沖縄のにがうり・マンゴー・パイナップルなど、多くの県に特産物があり、特色ある農業生産がおこなわれている。

大都市圏及びその近県では農業産出額は小さいものの、野菜類、果実などを中心に生産されている。 (373 字)

3 (40 点)

【採点のポイント】

以下の点について述べられていること。

- ・ 健康であると意識している人は、運動（スポーツ）習慣がある人が多い。
- ・ いずれの群でも男女差がさほどない。
- ・ あまり健康でないと意識している人たちは、運動（スポーツ）習慣がない人が約半数である。

【解答例】

男女ともに、「大いに健康」と意識する群の男性で約 70%、女性で約 65%が「ほとんど毎日」あるいは「ときどき」運動（スポーツ）をしている。一方、「まあ健康」と意識する群では男女とも約 50%が運動（スポーツ）習慣があり、「あまり健康でない」と意識する群では男性で約 30%、女性で約 35%が運動（スポーツ）習慣がある。

問題は、「あまり健康でない」と意識する群では、男女とも 46%が運動（スポーツ）をしないことである。したがって、この図は、健康を維持するために運動（スポーツ）が必要であることを示している。 (249 字)